

シドニー発着のセレブリティ・エッジ乗船記(その5) セレブリティ・クルーズについて

2025.11.21 池田良穂

セレブリティ・クルーズは、現在、3種類の大型クルーズ客船14隻を世界中に展開しています。その中で最も古いのが2000年から建造を始めた9万総トン級2170人定員のミレニアム・クラスの4隻、続いて2008年から建造を始めた12万総トン級2852人定員のソルスティス・クラスの5隻、そして2018年から建造をはじめた13万総トン級2918人定員のエッジ・クラスの5隻です。ほぼ2年に1隻のペースで新造船を建造しています。これ以外に南太平洋のガラパゴス諸島周辺で運航する6千総トン級の小型船「セレブリティ・フローラ」があります。

ほぼ年間を通じて同じ水域で船を固定して運航しているのが、カリブ海、地中海、アジアの3水域で、その他、カリブ海と地中海、アラスカとオセアニア、地中海と南米というように季節による需要変動に合わせて振り子のように移動して運航されている船があります。

筆者はミレニアム・クラスの「セレブリティ・ミレニアム」の日本発着クルーズ、「セレブリティ・シルエット」のチビタベックキア発着の地中海クルーズ、そして今回の「セレブリティ・エッジ」のシドニー発着オーストラリア国内クルーズに乗船しました。ミレニアム・クラスでは、ロイヤル・カリビアン・インターナショナル(RCI)の運航するカジュアルクラスのクルーズ客船とそう変わらないと思いましたが、モダンラグジュアリを謳うソルスティス・クラスからは、同グループのカジュアルクラスとの差が歴然としてきました。

セレブリティ・クルーズの大型船フリート(すべての船名の頭にはCelebrityがつきます)をまとめると以下のようになります。

ミレニアム・クラス: Celebrity Millenium(アジア), Constellation(地中海/カリブ海),
Infinity(地中海), Summit(アラスカ/カリブ海)

ソルスティス・クラス: Celebrity Solstice(アラスカ/南太平洋/アジア), Silhouette(北米東岸/カリブ海), Reflection(カリブ海), Eclipse(地中海・北欧/カリブ海), Equinox(地中海/南米)

エッジ・クラス: Celebrity Edge(アラスカ/オーストラリア), Beyond(カリブ海),
Ascent(カリブ海/地中海), Apex(カリブ海/北欧州), Xcel(カリブ海/地中海)



ミレニアム・クラス; セレブリティ・ミレニアム



ソルスティス・クラス; セレブリティ・シルエット; 竣工当時は白一色の塗装でした。



エッジ・クラス; セレブリティ・エッジ

今回乗船した「セレブリティ・エッジ」は、北半球の夏はアラスカ・クルーズ、南半球の夏はオーストラリア・ニュージーランド水域に配船されています。どちらも日本から8~10時間程度の飛行で移動すると同船のクルーズに乗船することができます。オーストラリア発着クルーズは短いもので4泊クルーズ、多くは10泊前後のクルーズとなっています。

アジアに配船されているのは、ご存じのように、「セレブリティ・ミレニアム」です。2026年は4月から東京もしくは横浜発着の11~12泊の海外ワンタッチの日本クルーズを11回を行い、日本発韓国着、韓国発日本着のクルーズも数回あるようです。10月末に日本発で香港、香港発でシンガポールのクルーズを行い、冬季はシンガポール、バリ(インドネシア)発着の11~12泊のクルーズを行います。

セレブリティ・クルーズのクルーズ詳細は、同社の日本総代理店ミキツーリストのサイトからご覧になれます。